

各 位

一般社団法人 日本環境測定分析協会  
会長 松村 徹

## GC-MS 技術研修会の開催について

～GC-MS 基礎知識の定着に向けて～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当協会のために格別のご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、協会では、賛助会員企業様とコラボレーションすることにより、環境測定分析に携わる技術者の皆様にお役立ていただけるような研修会の実施を検討してまいりました。

今回、環境分析において最も代表的な分析機器の1つであるGC-MSについて、その原理や取り扱い上での注意事項、またトラブルシューティングや最新の技術情報の提供など、専門の先生による講演と分析機器メーカーでの実習により、GC-MS 分析の初心者から中堅技術者の方まで、幅広い階層の方々にお役に立つ研修会を企画しました。

参加者の皆様に GC-MS 分析に関する最新の情報や知見をご紹介するとともに、分析装置に関する理解をさらに深めていただく絶好の機会としてご活用いただけますと幸いです。

なお、初日の座学の後に参加者と講師を交えた意見交換会を開催しますので、皆様全員ぜひご参加ください。

### 記

- 1 開催日時 2020年 2月20日(木) ～ 21日(金)
- 2 開催場所 日環協 2F 研修室および協賛メーカー分析室  
実技研修は、協賛メーカー分析室に分かれての受講となります。  
※実技研修を受講の方は、各メーカー分析室近辺の宿泊をお薦めします。
- 3 対象者 環境計量関係業務に従事し、GC-MS を使用している方
- 4 研修内容 別紙「GC-MS 技術研修会プログラム」を参照
- 5 受講料 【座学のみ参加(初日のみ)】  
日環協会員 10,000円 日環協非会員 15,000円  
【座学・実技参加(2日間)】  
日環協会員 40,000円 日環協非会員 60,000円
- 6 募集人数 40名(実技研修の定員は、23名で協賛メーカーごとに先着順受付)  
アジレント・テクノロジー株式会社 6名  
株式会社島津製作所 6名  
日本電子株式会社 5名  
株式会社パーキンエルマー・ジャパン 6名  
※パーキンエルマー・ジャパンでは、環境分析に欠かせない前処理装置(ヘッドスペースサンプラー等)も併せてご説明します。
- 7 申込方法 別紙申込書を2020年1月10日(金)までにメール添付により、GC-MS 研修会担当までお送りください。  
※実技研修は先着順のため受付後、受講可否をご連絡いたします。  
Eメール: jemcaeducation@jemca.or.jp
- 8 キャンセルの取扱いについて
  - ・1日(座学)コース: 開催1週間前までキャンセルをお受けいたします。開催1週間前を過ぎてのキャンセルは参加料の返金をいたしませんのでご了承ください。
  - ・2日間(座学&実技)コース: 原則キャンセルは受け付けいたしません。参加料の返金をいたしませんのでご了承ください。

# GC-MS技術研修会プログラム

【2020年2月20日（木）座学】

時 間	演 題	講 師（敬称略）
10:40 ～11:00	受 付	
11:00 ～11:10	開会挨拶、講師紹介	
11:10 ～12:10	<b>【特別講演】</b> ・装置購入時の注意点 ・前処理の注意点 ・検出限界について	東京工芸大学  秋山 賢一 様
12:10 ～12:50	昼食（お弁当を用意いたします。）	
12:50 ～14:40	<b>【キャピラリーGCに関わる基礎知識】</b> 1. キャピラリーカラムの歴史 2. キャピラリーカラムの構造 3. キャピラリーカラムの選択方法 4. キャピラリーカラムの性能について 5. 基礎理論 6. クロマトグラム 7. コンディショニングなど	シーエルサイエンス株式会社  安藤 晶 様
14:40 ～14:50	休 憩（10分）	
14:50 ～16:40	8. キャピラリーカラムの製造方法 9. インジェクションライナー 10. 注入方法 11. トラッピング 12. シリンジ 13. フェラル 14. セプタム	トレイジャンサイエンティフィック ジャパン株式会社  井出 武義 様
16:40 ～16:50	休 憩（10分）	
16:50 ～17:30	<b>【ディスカッション】</b> ・質疑応答	
17:30 ～19:00	意見交換会	

※基礎講座詳細は、「プログラム別紙」をご参照ください。

※プログラム、講演内容が変更される場合があります。

# GC-MS 研修会プログラム

【2020年2月21日（金）実技】

実技場所 : 協賛メーカー実習会場をご確認ください。

実技研修時間 : 9時30分～15時30分

実技内容 : ・GC-MSの基礎（座学）

・GC-MSの実習（立上げから解析まで）

分析内容：ハロ酢酸の分析（液打ち）※

※メチル化ハロ酢酸類の分析です。前処理は行いません。

・メンテナンス

※途中休憩ならびに昼食のお時間を含みます。

## 【協賛メーカー実習会場】

### ○アジレント・テクノロジー株式会社

・使用装置：Agilent 5977B GC/MSD

・住所：東京都八王子市高倉町9-1

<https://www.agilent.com/newsjp/companyinfo/maps/map.html>

・電話番号：0120-477-111

・担当者：分析機器営業統括部門 長岡 修三

### ○株式会社島津製作所

・使用装置：GCMS-QP2020NX、GCMS-TQ8050NX

・住所：〒101-8448 東京都千代田区神田錦町1-3 島津製作所 東京支社

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

・電話番号：03-3219-5613

・担当者：分析計測事業部 MS ビジネスユニット プロダクトマネージャー 田中 幸樹  
株式会社島津テクノリサーチ 試験解析事業部 奥田 浩子

### ○日本電子株式会社

・使用装置：JMS-Q1500GC

・住所：〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2

<https://www.jeol.co.jp/corporate/outline/map/>

・電話番号：042-542-2242

・担当者：MS事業ユニット MSアプリグループ 小野寺 潤

### ○株式会社パーキンエルマージャパン

・使用装置：Clarus SQ8 GC/MS

・住所：〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134

横浜ビジネスパークテクニカルセンター4F

<http://www.perkinelmer.co.jp/corp/tabid/104/Default.aspx>

・電話番号：045-339-5861

・担当者：DAS事業部分析機器営業本部 アプリケーションリサーチラボ 梅澤 理賀  
DAS事業部分析機器営業本部 アプリケーションリサーチラボ 古石 真紀子

\*環境分析に欠かせない前処理装置(ヘッドスペースサンプラー等)も併せてご説明します